

5千年ぶりに蘇る

アーユルヴェーダ

③

バイオリック 辻大作社長

インドで「アーユルヴェーダ」を実践している人達は、川に入って沐浴をします。それはただ体を洗うだけでなく、肛門から水を吸い込み、さらさら「油を垂らす」「腸内にそれを一気に出すのです。それで腸内を洗浄し

にも基礎化粧品のお考え方が存在します。「お肌を美しく保つ」ことは、肌も体の一部です。ですから「毒素排泄」と考へた場合、理屈が通るのではないのでしょうか。それゆえ皮膚に直接働きかけて「未消化物」(毒素)を排泄する考え方の化粧品はインドでは現実に存在しているのです。

豊かになつたから

生まれてくる病氣

数年前、日本で「インドエステ」ということで、大ブームを巻き起こしたことは我々の記憶に新しいものです。だからまさに「インドエステ」イコール「アーユルヴェーダ」と思い込んでいる人が多いようです。

3リットルほど入れ、

ているのです。

ということです。重要な

しかし、「アーユルヴェーダ」は、もっとも奥が深いものなのです。

腸内を洗浄するものです。最近では「腸内洗浄」という言葉が使われるケース

ただ、これは一般人ではなかなか難しいので、どうしても機械に頼ることになります。日本の医療機関では現在、米国製の機械を導入していま

つまみ食いをしてもあまり感心したことではないということですね。

また二、三年前から流行り出して来た「コロソクレンジング」というものがあります。これは何かと言いますと、肛門から食塩水を2リットルか

もあるようですが、これももともと「アーユルヴェーダ」がやっていることなのです。それを欧

米諸国が機械を使ってやり始めたことなのです。理解が早いかもしれませ

読者の最大の関心事である化粧品についてです。が、「アーユルヴェーダ」

インド人は何千年前からターメリックが含まれるカレーを食べ続けてきました。それで体内の毒素の一つ、活性酸素を排泄してきたのです。だからインドでは、「ターメリック」を配合した化粧品も数多くあります。そうすれば、肌の若返りが

期待できるのです。つまり日本においても、「サプリメント」か化粧品には、「アーユルヴェーダ」の考え方を取り入れれば成功する可能性は大きいと言えますね。それは「アーユルヴェーダ」の考え方が本質的に現代日本人に合うものが多いからです。

なぜなら現在の日本には、「生活習慣病」と言われる予備軍がものすごく多いからです。それに「アトピー性皮膚炎」は日本で大問題になっている皮膚病です。これらすべては、生活習慣の中から、健康な人が「未病」の状態になって起きてくる病氣なのです。

これらの原因は、すべて一つです。それは日本が豊かになつたからで